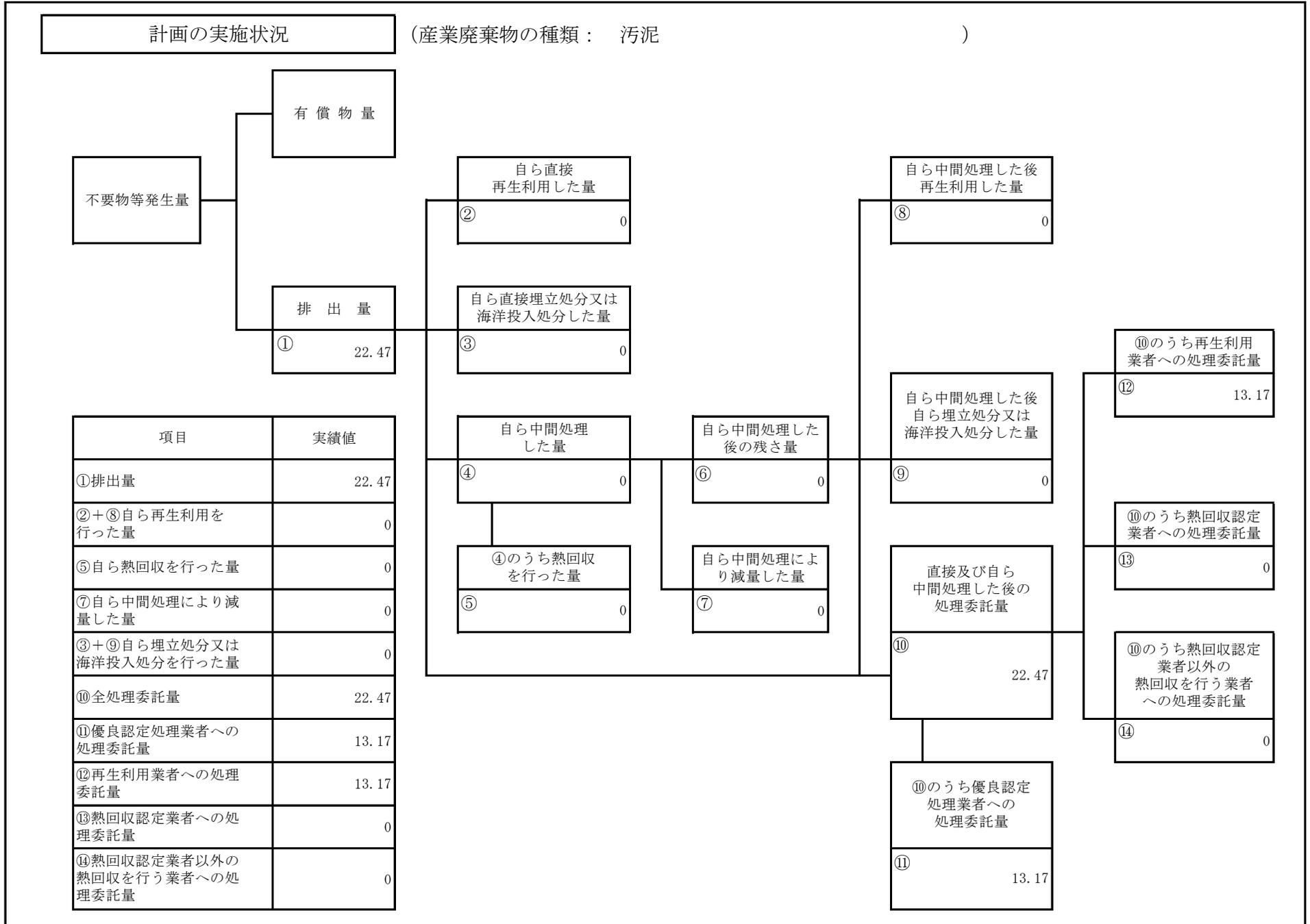


様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

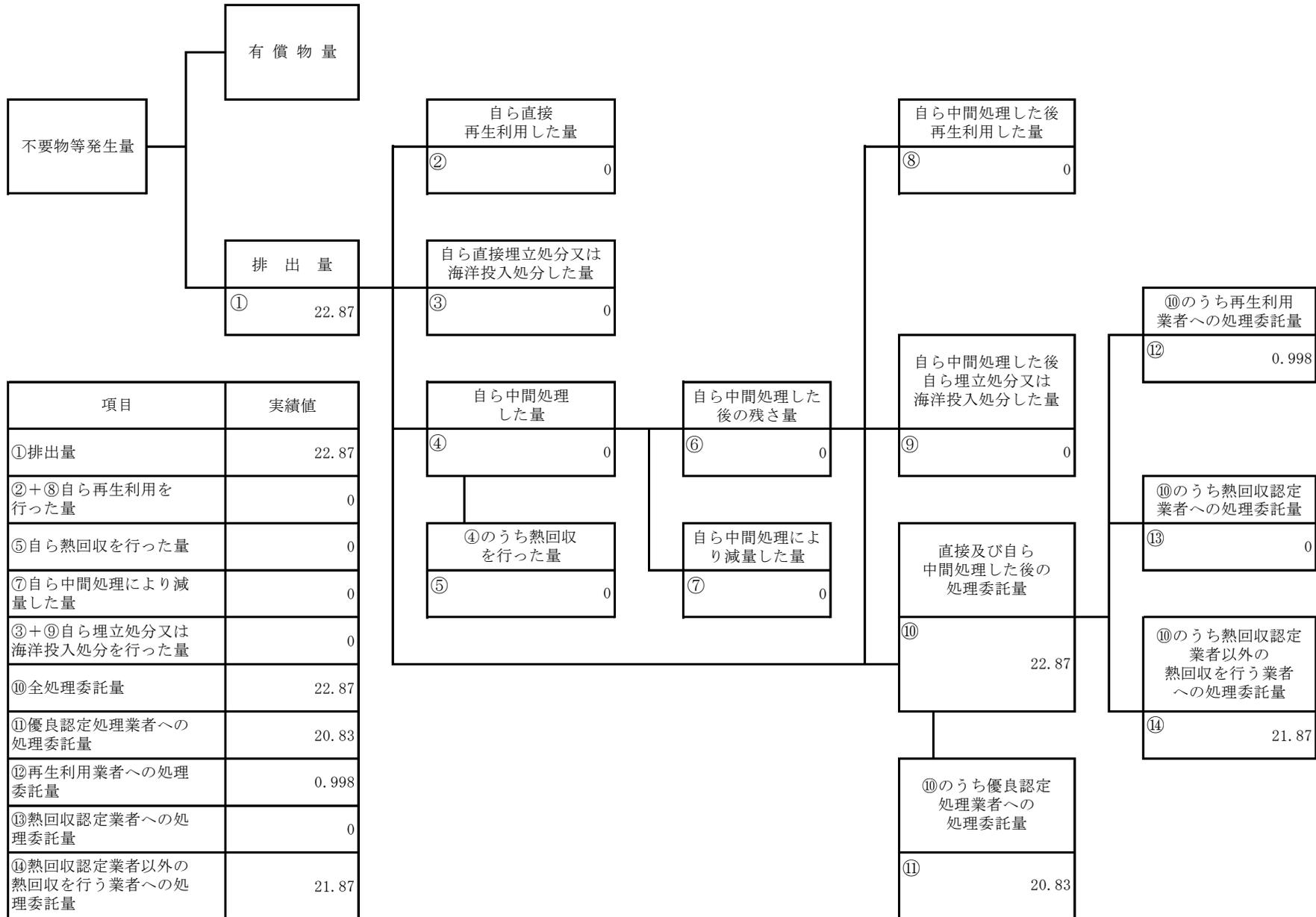
産業廃棄物処理計画実施状況報告書 令和6年6月28日 北九州市長 武内 和久 様 提出者 〒806-0004 住 所 北九州市八幡西区黒崎城石1-2 氏 名 エムイーシーテクノ株式会社 九州事業所長 藤本 久二 電話番号 093-631-2719 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	エムイーシーテクノ株式会社 九州事業所		
事業場の所在地	北九州市八幡西区黒崎城石1-2		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,980 t	全処理委託量	5,980 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	4,500 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4,210 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	40 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



計画の実施状況

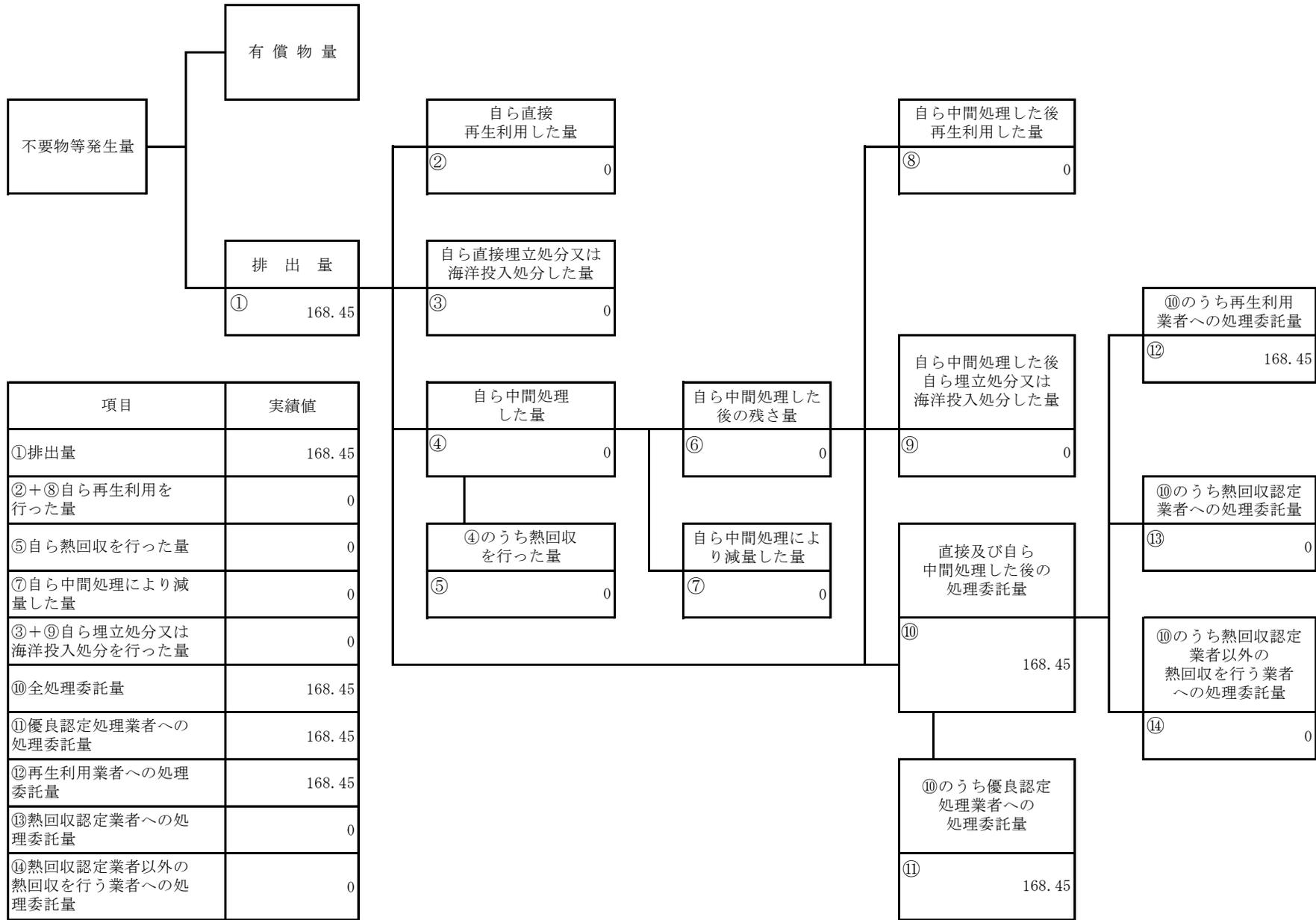
(産業廃棄物の種類： 廃油 )



項目	実績値
①排出量	22.87
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	22.87
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.83
⑫再生利用者への処理委託量	0.998
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	21.87

計画の実施状況

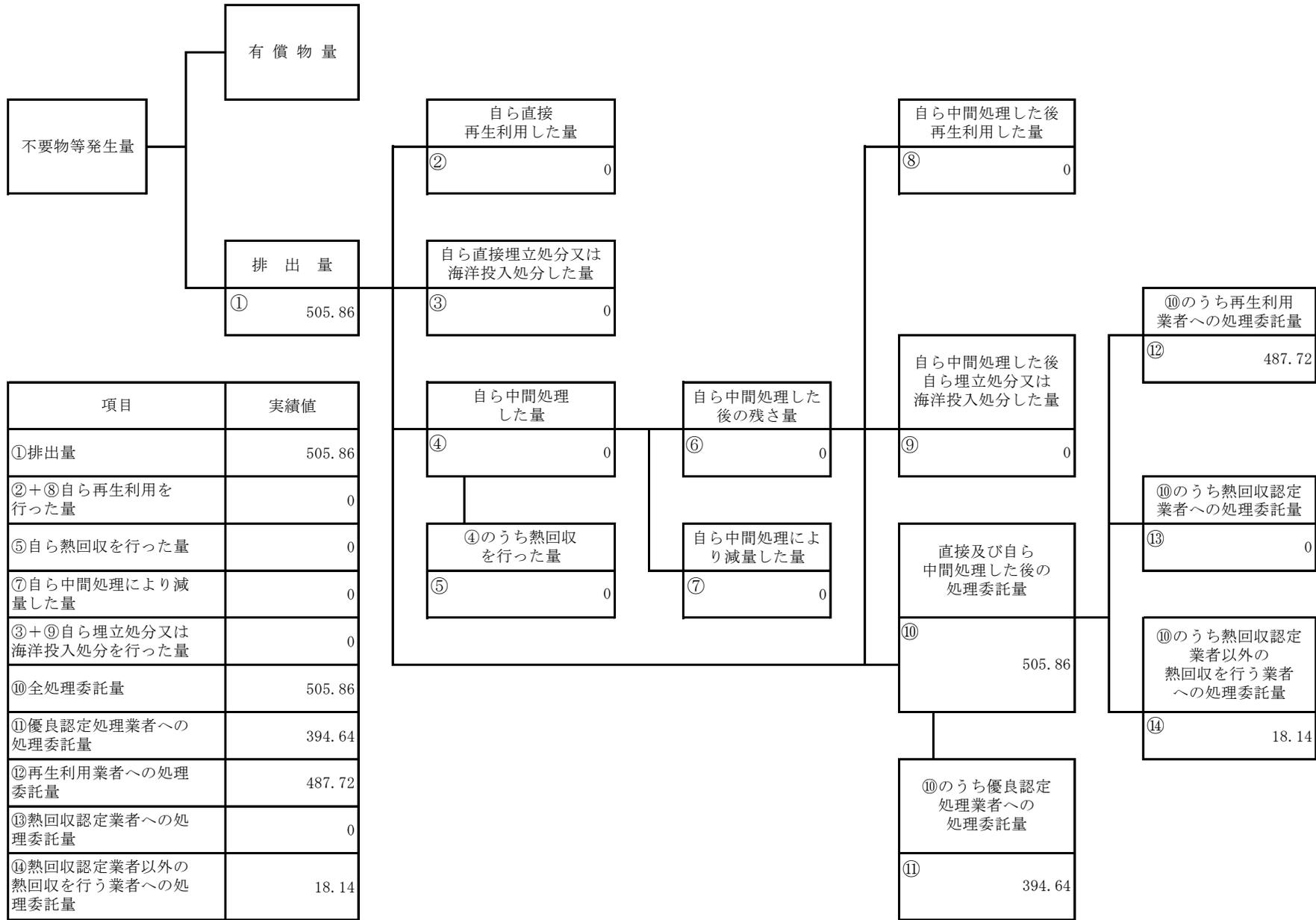
(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ )



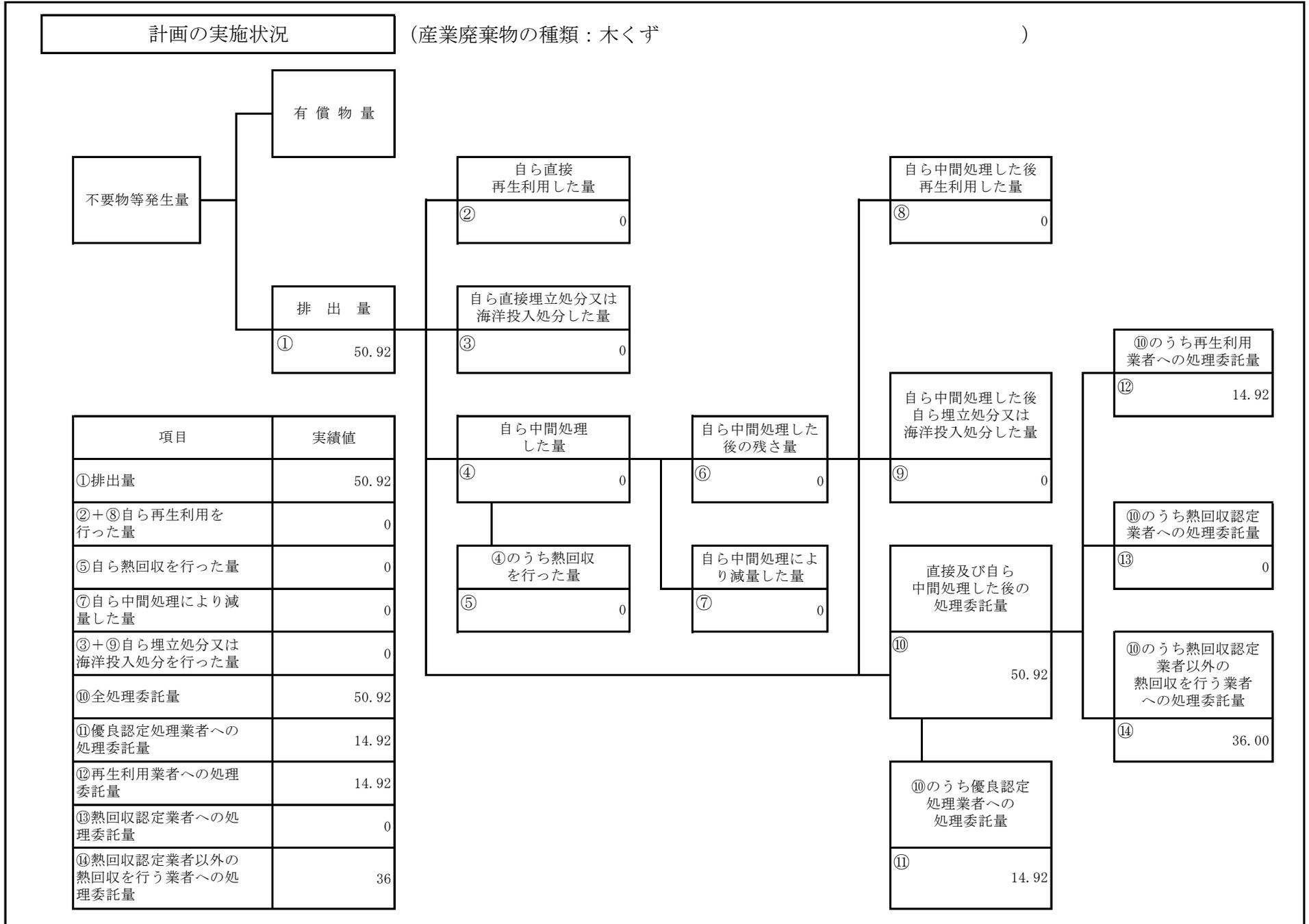
項目	実績値
①排出量	168.45
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	168.45
⑪優良認定処理業者への処理委託量	168.45
⑫再生利用者への処理委託量	168.45
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ )

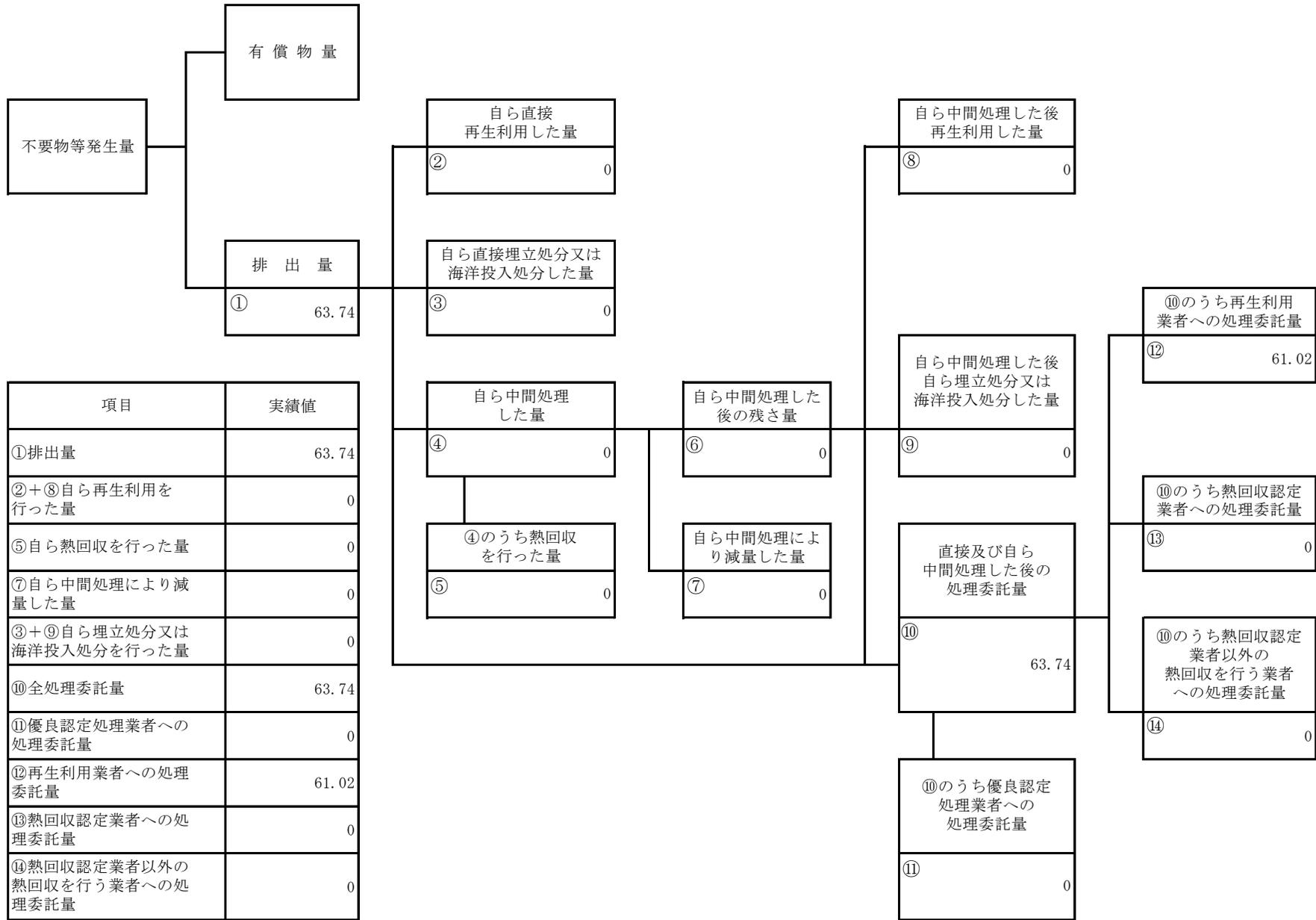


項目	実績値
①排出量	505.86
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	505.86
⑪優良認定処理業者への処理委託量	394.64
⑫再生利用者への処理委託量	487.72
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	18.14



計画の実施状況

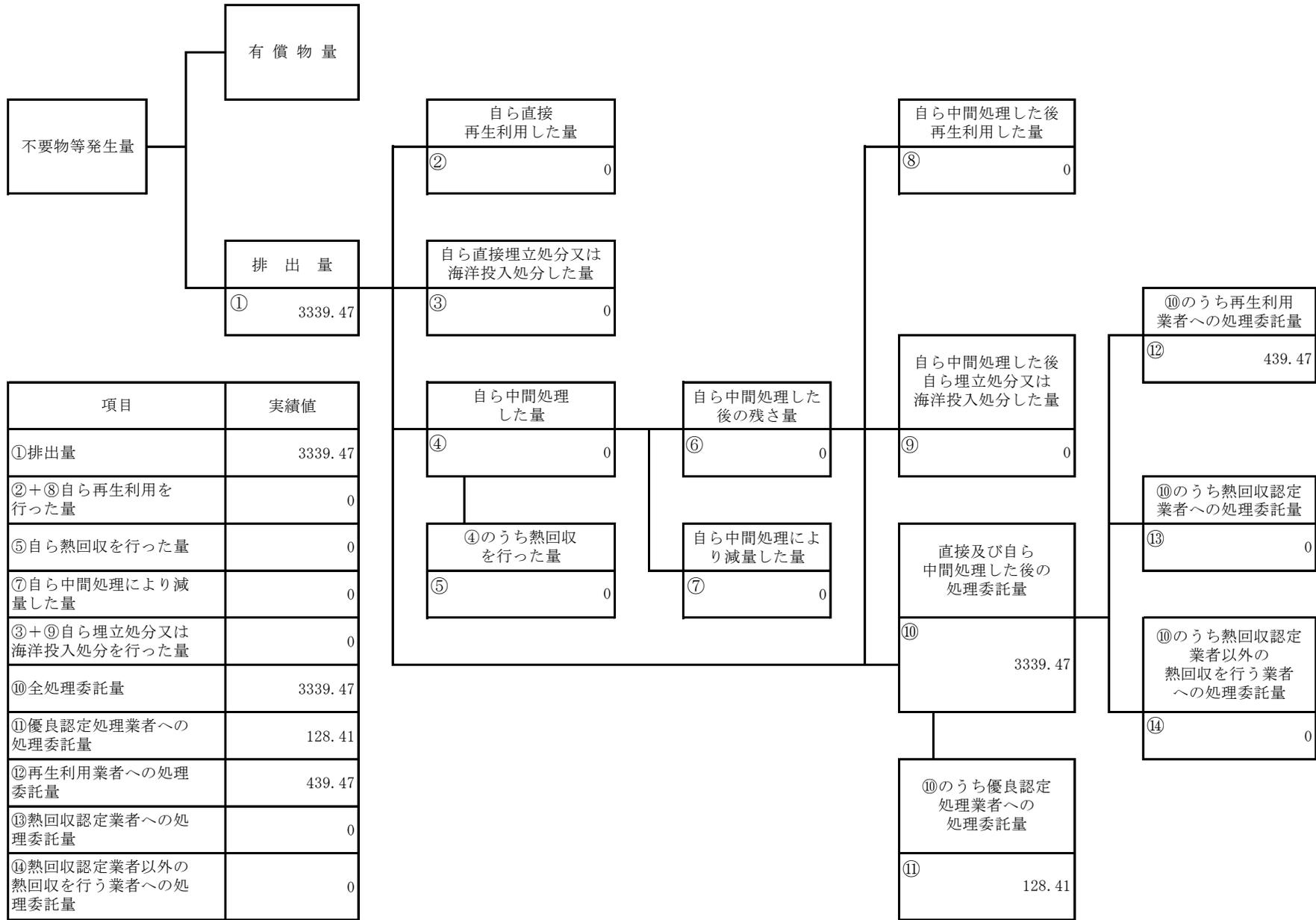
(産業廃棄物の種類： 金属くず )



項目	実績値
①排出量	63.74
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	63.74
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	61.02
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

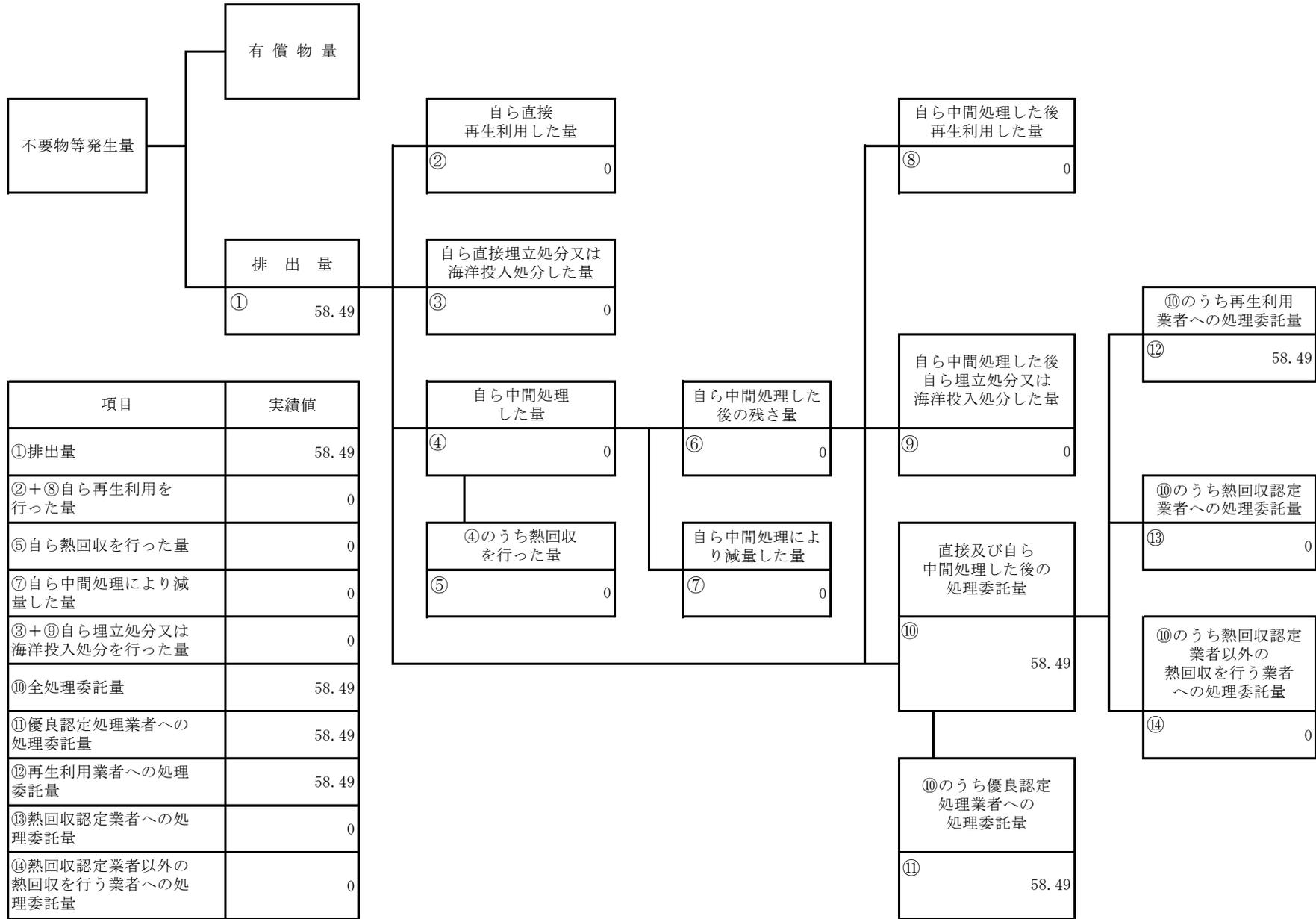
(産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	3339.47
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3339.47
⑪優良認定処理業者への処理委託量	128.41
⑫再生利用者への処理委託量	439.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

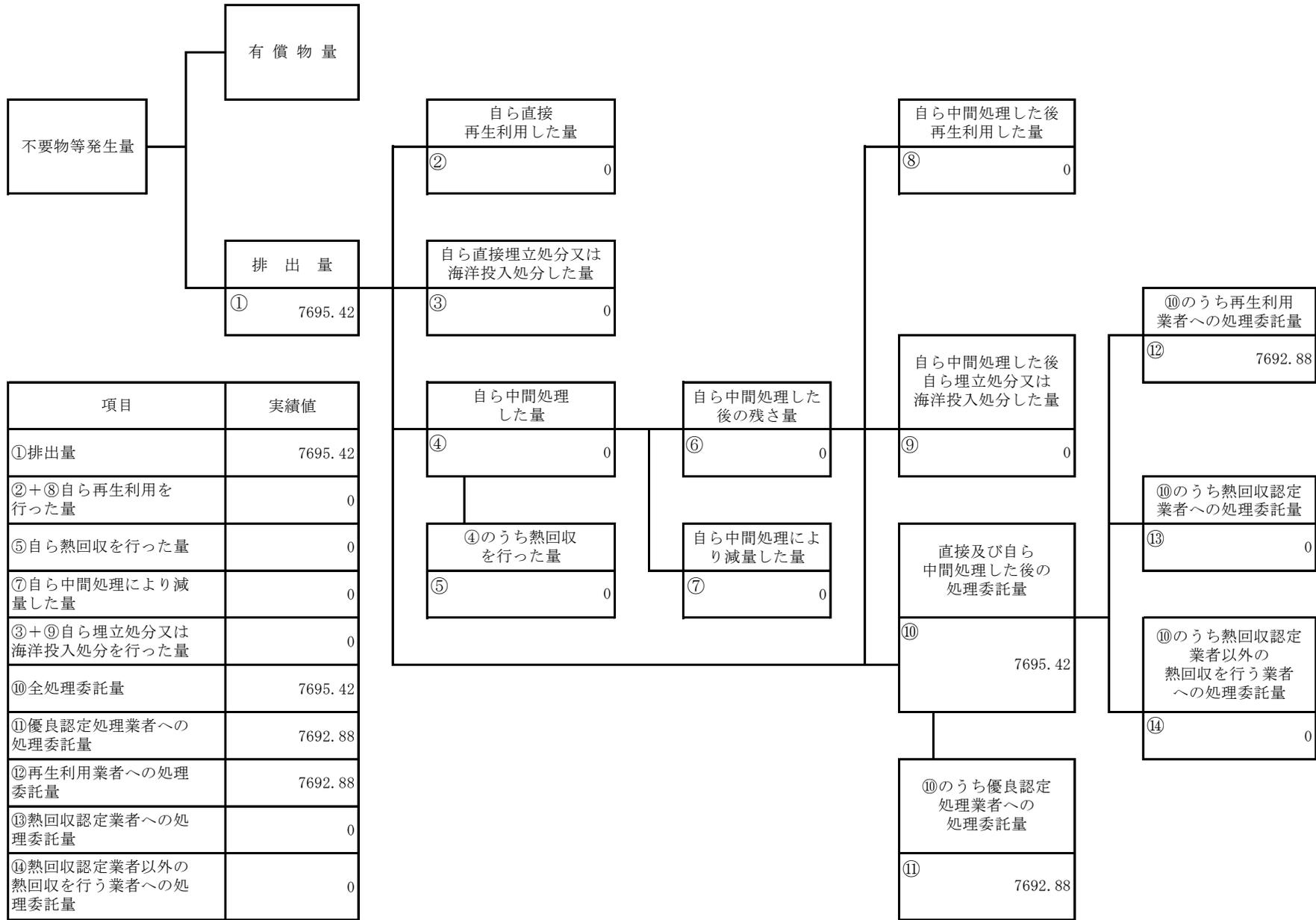
(産業廃棄物の種類： 鋳さい)



項目	実績値
①排出量	58.49
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	58.49
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.49
⑫再生利用者への処理委託量	58.49
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

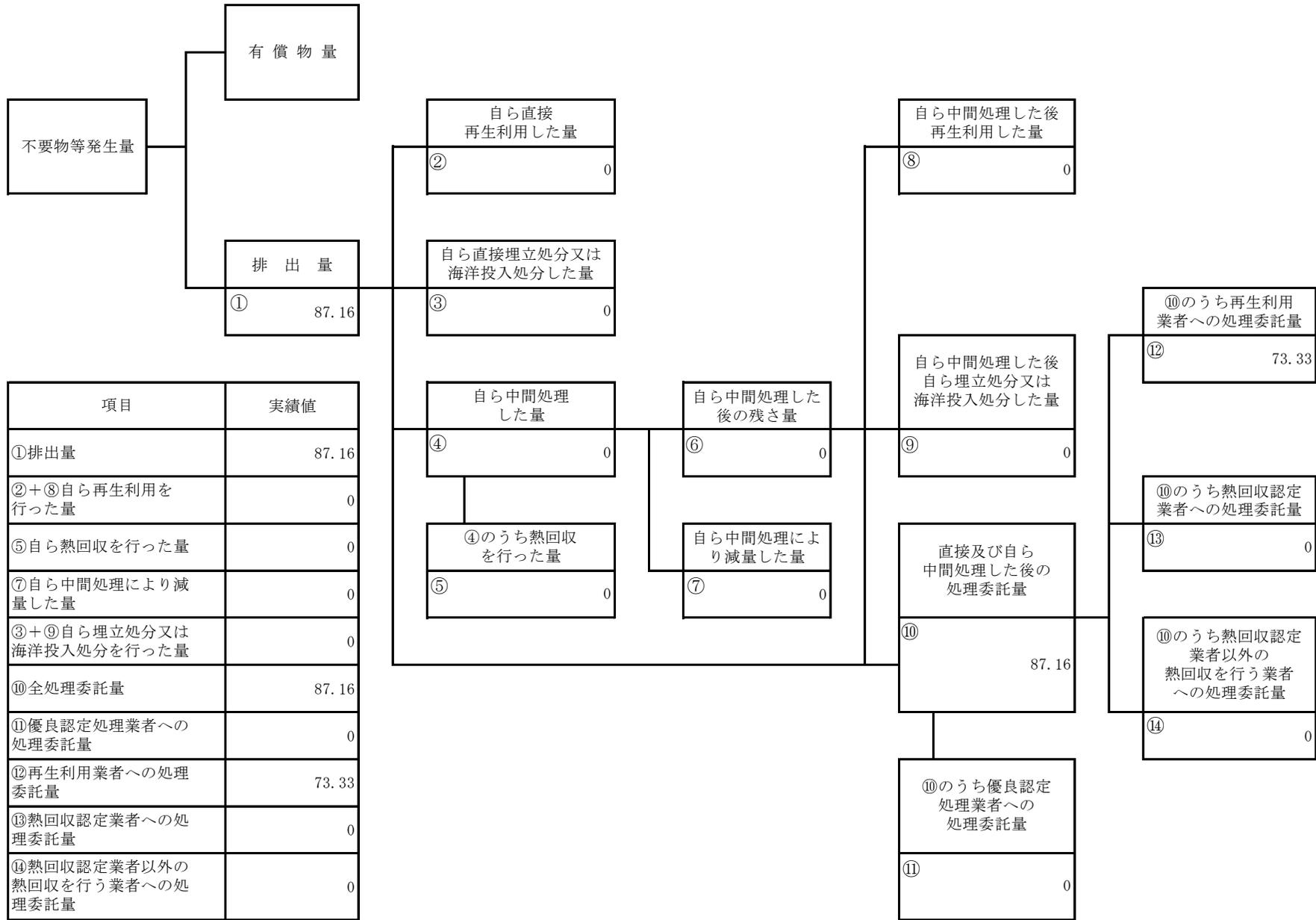
(産業廃棄物の種類： がれき類 )



項目	実績値
①排出量	7695.42
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	7695.42
⑩優良認定処理業者への処理委託量	7692.88
⑫再生利用者への処理委託量	7692.88
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

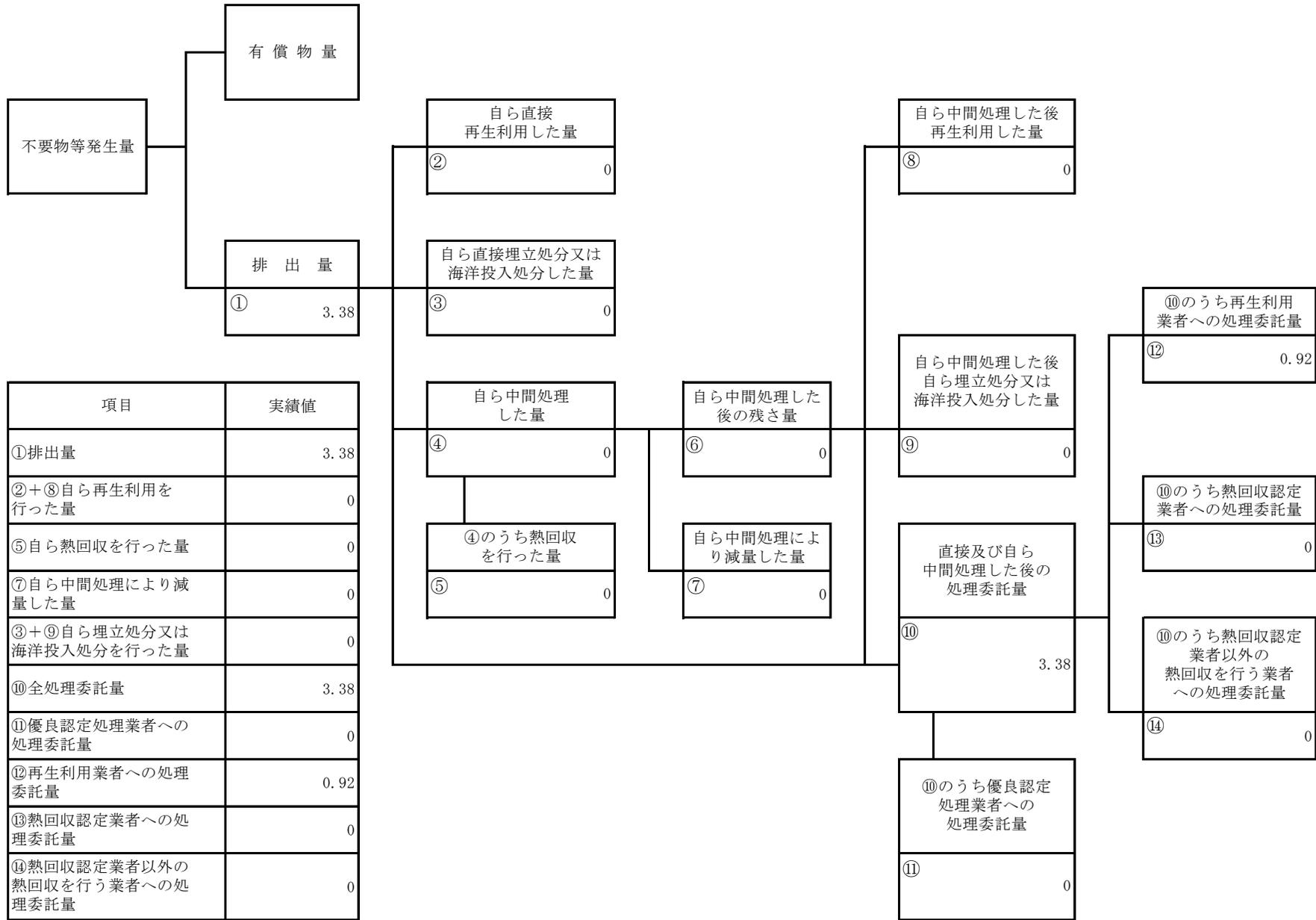
(産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物 )



項目	実績値
①排出量	87.16
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	87.16
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	73.33
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

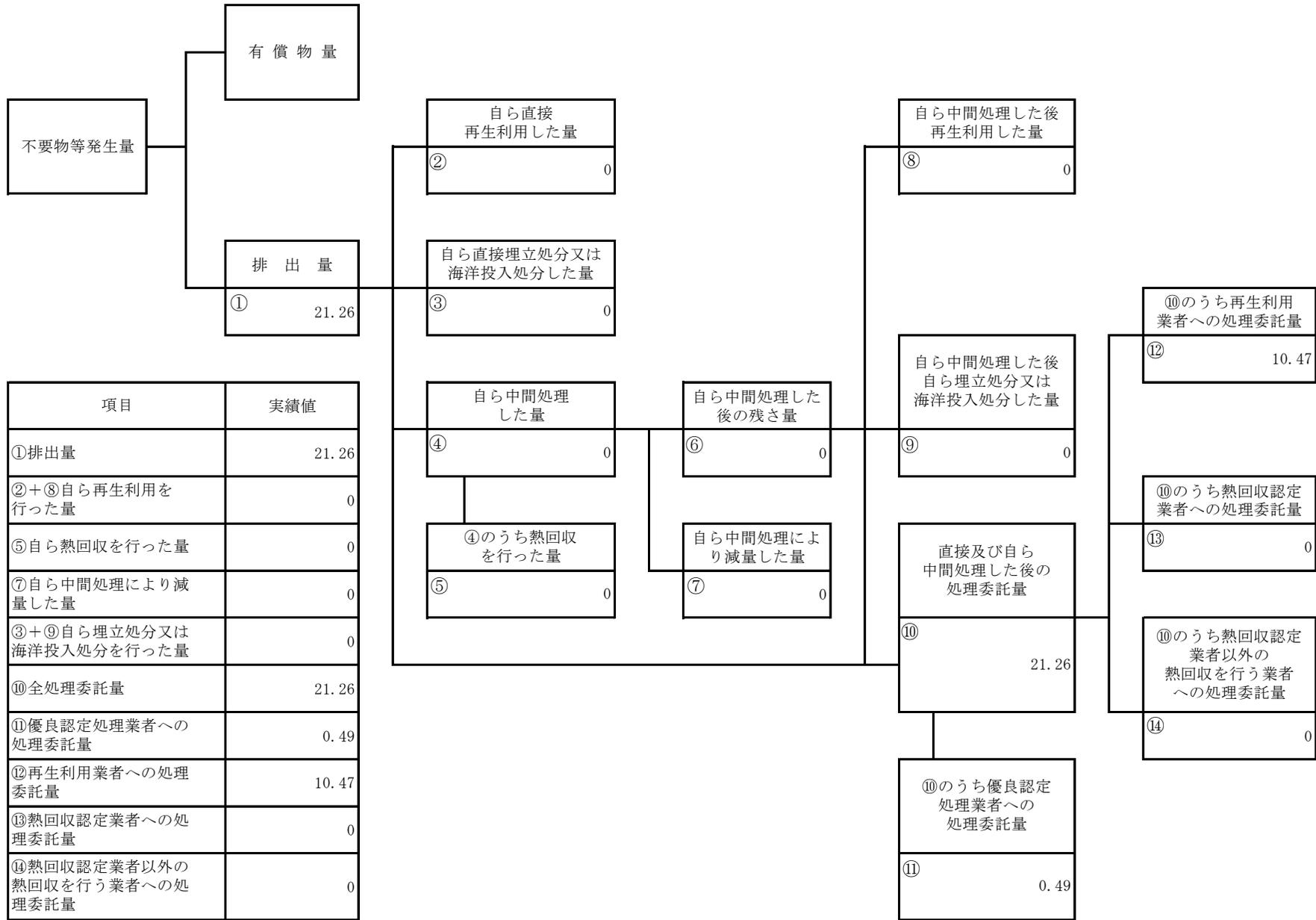
(産業廃棄物の種類：安定型混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	3.38
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.38
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.92
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

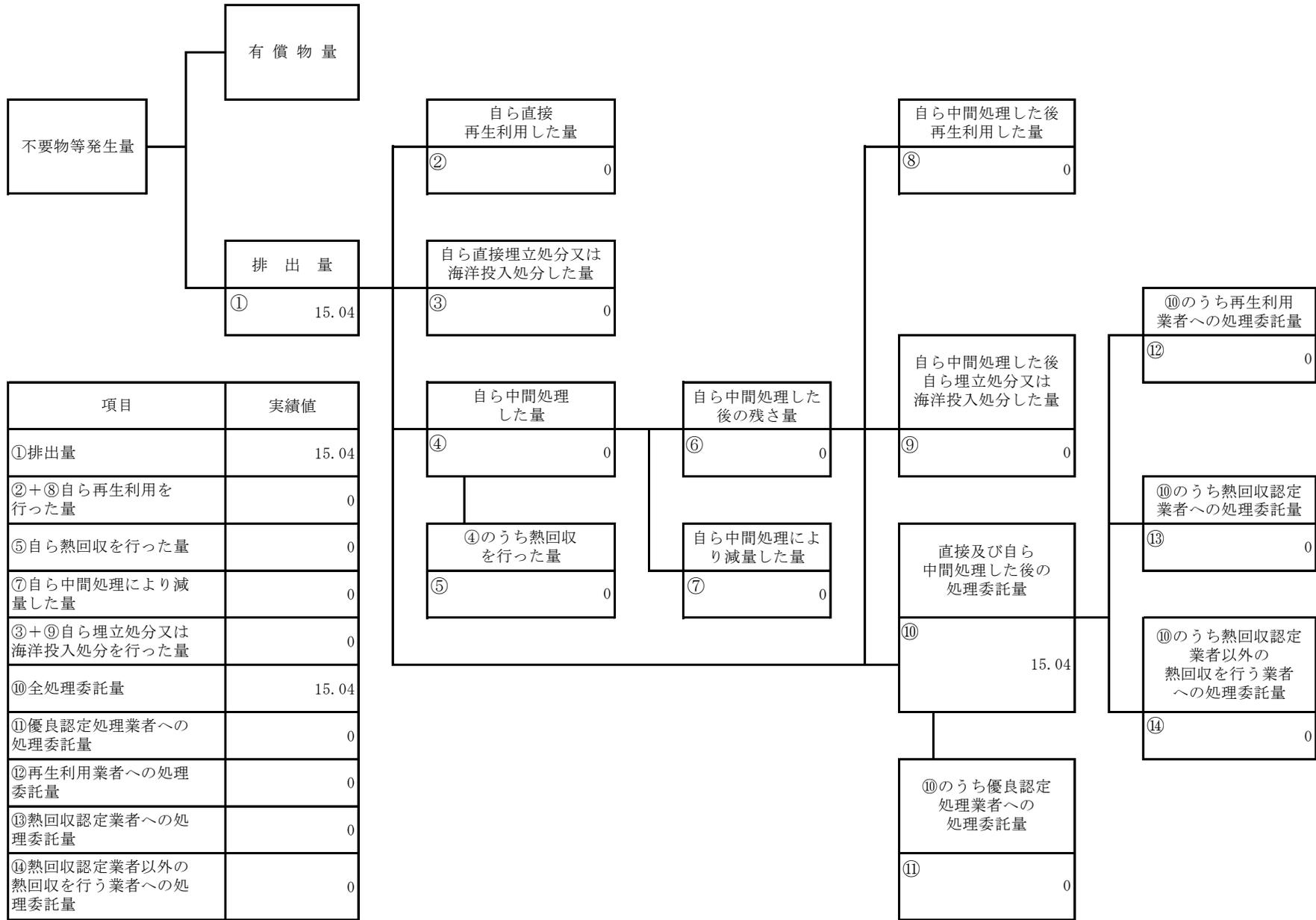
(産業廃棄物の種類： 管理型混合廃棄物 )



項目	実績値
①排出量	21.26
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	21.26
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.49
⑫再生利用者への処理委託量	10.47
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

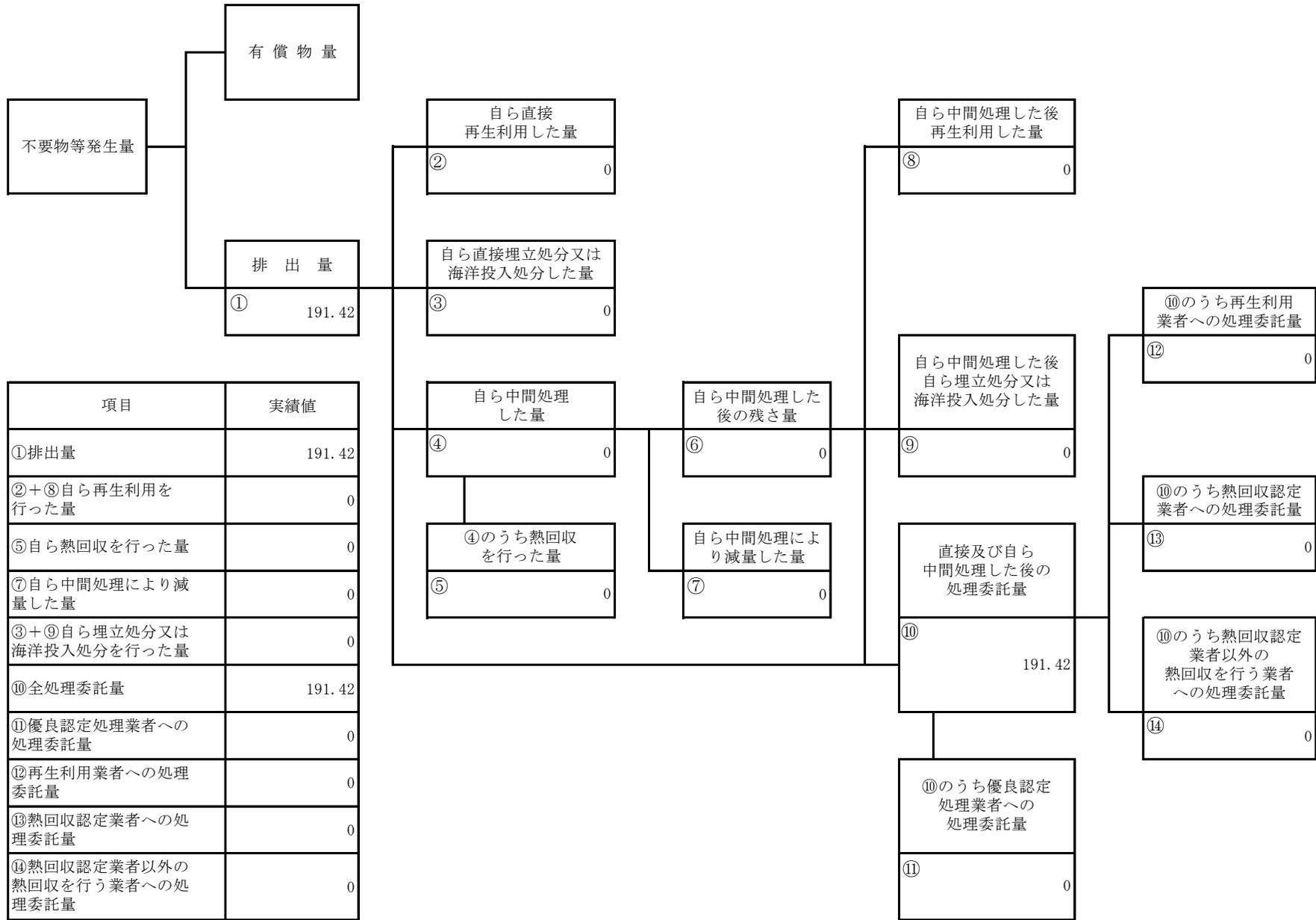
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ (石綿含有) )



計画の実施状況

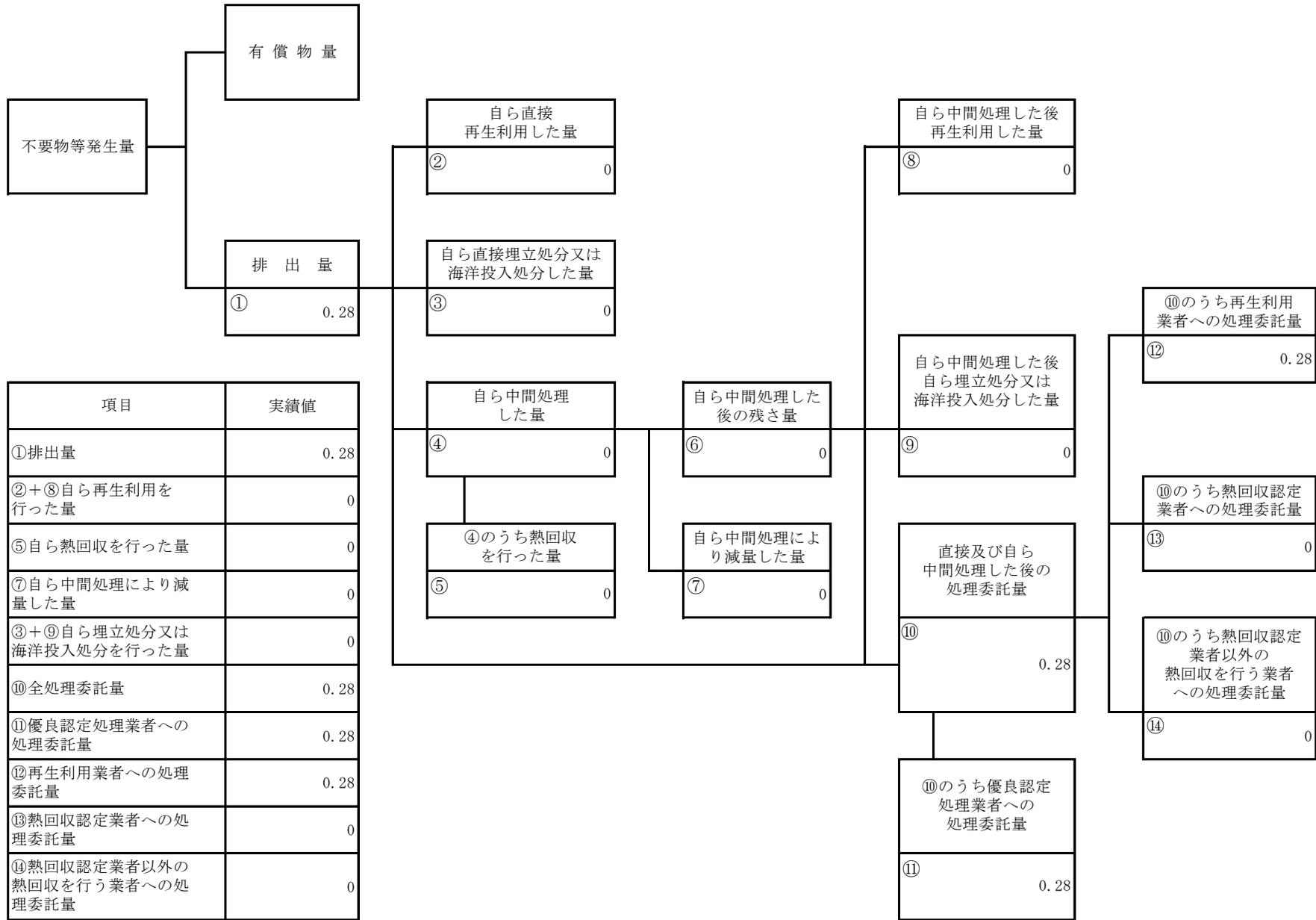
(産業廃棄物の種類： がれき類 (石綿含有) )



項目	実績値
①排出量	191.42
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	191.42
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 蛍光灯)



項目	実績値
①排出量	0.28
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.28
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.28
⑫再生利用者への処理委託量	0.28
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

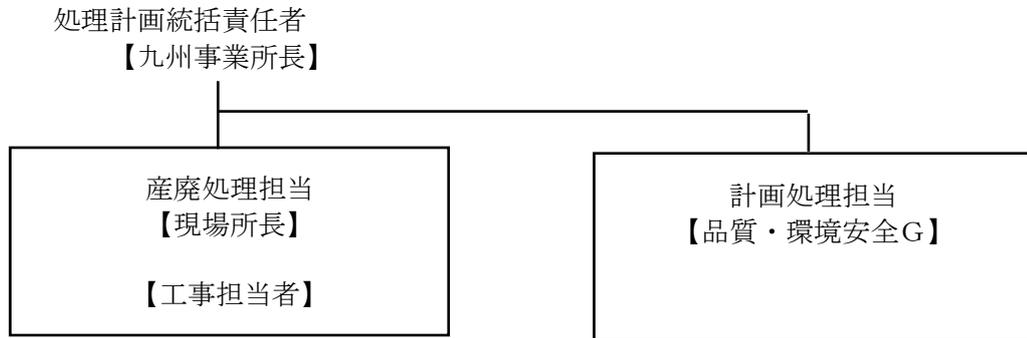
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月28日	
北九州市長 武内 和久 様	
提出者	
住 所 北九州市八幡西区黒崎城石1-2	
氏 名 エムイーシーテクノ株式会社	
九州事業所長 藤本 久二	
電話番号 093-631-2719	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	エムイーシーテクノ株式会社 九州事業所
事業場の所在地	北九州市八幡西区黒崎城石1-2
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高 62億
③ 従業員数	169名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>【汚泥】⇒埋立 【廃油】⇒燃料化、再生利用 【廃アルカリ】⇒中和                  【廃プラ】⇒選別、破碎⇒焼却⇒再生利用又は埋立                  【木くず】⇒破碎、チップ化⇒再利用(一部燃料) 【金属くず】⇒選別                  ⇒再生利用 【ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず】⇒破碎                  ⇒再生利用又は、埋立 【鋳さい】⇒破碎⇒再生利用                  【がれき類】⇒再生利用又は埋立 【建設混合廃棄物】⇒選別⇒再生、                  又は埋立 【蛍光灯】⇒再生利用</p>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	排出量	12246.23 t	t
	(これまでに実施した取組) ・埋め立て廃棄物の削減 (細かな分別の推進) ・土砂混合がれきの分別処理の推進		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	排出量	6400 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今期も建屋解体工事にて3800トンのコンクリートがらの排出量が予想される為、処分については100%リサイクル達成に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・土砂工合がれきの分別処理。 ・各種産業廃棄物のきめ細かな分類。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記の全項目の維持、継続に努める。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・コンクリートがらについては破砕を行い、基盤材としての再利用を推進する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組) ・特になし。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) ・特になし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		
	【目標】		
② 計画	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし。		
	【前年度（令和5年度）実績】		
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙-1の通り	
	全処理委託量	12246.23 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	8492.56 t	t
	再生利用業者への処理委託量	9022.12 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	76.01 t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－1の通り	
	全処理委託量	6400 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	4260 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	4600 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	60 t	t
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規契約についての事前調査の徹底に努める。</li> <li>・委託先への訪問調査(実地確認)の推進。</li> <li>・電子マニフェスト対応可の産廃業者を選定。</li> </ul>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和5年度)実績量  
 計画：今年度(令和6年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+③)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+④+⑥)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	22.47	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22.47	50.00	13.17	25.00	13.17	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	22.87	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22.87	20.00	20.83	20.00	1.00	2.00	0.00	0.00	21.87	20.00
廃アルカリ	168.45	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	168.45	100.00	168.45	100.00	168.45	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	505.86	250.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	505.86	250.00	394.64	200.00	487.72	230.00	0.00	0.00	18.14	10.00
木くず	50.92	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	50.92	50.00	14.92	13.00	14.92	15.00	0.00	0.00	36.00	30.00
金属くず	63.74	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	63.74	60.00	0.00	0.00	61.02	59.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	3339.47	1800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3339.47	1800.00	128.41	100.00	439.47	280.00	0.00	0.00	0.00	0.00
鋳さい	58.49	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	58.49	50.00	58.49	50.00	58.49	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類	7695.42	3800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7695.42	3800.00	7692.88	3750.00	7692.88	3750.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物	87.16	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	87.16	80.00	0.00	0.00	73.33	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00
安定型混合廃棄物	3.38	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.38	9.00	0.00	0.00	0.92	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00
管理型混合廃棄物	21.26	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	21.26	20.00	0.49	1.00	10.47	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラ(石綿含有)	15.04	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	15.04	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
がれき類(石綿含有)	191.42	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	191.42	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
蛍光灯	0.28	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.28	1.00	0.28	1.00	0.28	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	12246.23	6400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	12246.23	6400.00	8492.56	4260.00	9022.12	4600.00	0.00	0.00	76.01	60.00

機械2G解体工事関係予定排出量(6/25確認)  
 全体的に前年の半数を予想